



御進級・御入園 おめでとうございます



『 私たちは 見えるものではなく、見えないものに 目を留めます。

見えるものは 一時的であり、見えないものは 永遠に続くからです。

(新約聖書 コリント人への手紙 第二 4:18) 』

2024年度がスタートしました！

土曜日と日曜日の真夏のようなお天気で、保育園下の桜並木のつぼみ達も一気にふくらみ始め、つのぶえの新しい1年の幕開けをお祝いしてくれているようです。昨日の朝 子ども達は皆、希望や期待を胸に ニコニコの笑顔で登園してきました。「なんか 前と違う感じ〜」と部屋を見回したり、キャッキョとはしゃぎながら先生達や仲間達と嬉しそうに抱き合ったり…。それぞれ1つ大きくなった喜びを思いきり味わっている子ども達のキラキラ輝く瞳に、新たな力をもらった私です。1年前の皆の姿を振り返りながら、ほんとうに頼もしくなったなと感無量でした。この1年どんな出会いや別離があり どんな道のりを皆で歩いて行くのでしょうか。全員が集った朝の始業礼拝の中では『成長する』ということについて話しました。成長するとは大きくなること、大きくなるとはだんだん大人になっていくこと、そして、成長には“身体が大きくなる” “頭が大きくなる” “心が大きくなる” いう3つの種類があることを伝えました。背が高くなり 遅くなっていく身体、その身体で様々なことを経験し 体感し、刺激を受けて学び 考える、頭の中の脳、その中で心の成長が、目に見えないからこそ、1番大事であることを伝えました。子ども達は、自身の頭や身体や胸を両手で押さえたり 優しくなでたりしながら、小さいクラスの子も達も とても真剣な表情で それぞれ 聞き入っていました。

神様は この世界を創られた時、神様と同じ「心」というものを 被造物の中で唯一、人にだけ与えてくださいました。想う心…それは私達にとっての宝物です つのぶえの保育は、人としてこの“心のはぐくみ”を 最も大切にしています。自分の中に在る、感じ想う目に見えない心が、自分以外の人の中にも在ることに気づくこと、その想いをわかりたいと願うこと、そのために自らの心を使うこと、そして、その想いを目に見える形で言葉や身体で表して一生懸命に伝えることを日々の保育園生活の中で、繰り返し繰り返しぶつかっていきたくて思っています。子どもが真剣に生きる場として、大人である私達も“人として”を常に考え合い “子どもにとっての最善”をどんな時も優先し合い、互いに成長し合える1年を心温かく 元気に歩めるよう、職員一同、祈りをあわせながら 尽力して参ります。今年度は 明日の入園式で2名の新しい仲間が加わり、48名でのスタートです。つのぶえ保育園を通して与えられたこの出会いを大切に、子どもを真ん中にして今年も、各御家庭と保育園との二人三脚の関係を築いていきたいと願っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。神様のお守りと祝福を祈りつつ。(石田 記)